



# 学校だより

11月号(第04-08号)

令和4年11月25日

横浜市立高田中学校

校長 横田 由美子

TEL : 591 - 4183

## 地域防災拠点訓練に参加して

副校長 長谷部宏行

11月6日(日)の午後、高田中学校で地域防災拠点の訓練が行われ、参加いたしました。当日は天候にも恵まれ、地域の多くの方の参加がありました。新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の方が大勢高田中学校に来校されたのは実に久しぶりです。スタンドパイプ消火訓練や避難所用間仕切りテント(今年度33個配備されました。)の組立訓練など、防災拠点運営委員の皆様によるとても分かりやすい説明と、デモンストレーション、参加者への丁寧なサポートで充実した訓練を実施することができました。消火訓練では機器の操作法を知ることでも大切ですが、「火事だー」と大声で周りに知らせること、自分だけでなんとかしようとしめないこと、119番の連絡を確実にを行うことを改めて参加者全員で確認しました。間仕切りテントは、組み立てるのは比較的短時間でできますが、元通りに収納するのにコツがあり、訓練に参加することの大切さを感じました。運営委員の皆様は日頃より防災機材の点検や取扱い訓練、防災備蓄倉庫の整理など災害時に備えて準備をしてくださっています。ありがとうございます。私自身、自宅の防災グッズを見てみたら、水も非常食も賞味期限が切れていました。すぐに用意しなおしました。訓練参加をきっかけに自分の点検をすることができ、よかったです。

令和5年度中には災害用ハマッコトイレ(災害時下水直結式仮設トイレ 通常型4基、車いす対応型1基)が配備されます。普段は収納しておき、災害時に組み立てて設置するものです。下水道管の工事等を令和5年夏に行い、年度末までに使用可能となりますことをあわせてお知らせいたします。



地域防災拠点訓練(11月6日)の日の紅葉



間仕切りテントの組立訓練

### 自らの命を自ら守るために～自助の啓発の推進～

発災時に自宅に住めなくなる住民を少しでも減らし、拠点の資源を本当に必要としている人へ提供するためにも、まずは住民一人ひとりが自らや家族の命を守り、家を守り、備蓄を行うことが求められます。

#### 地域の皆さまへ知っていただきたいこと

- 家具の転倒防止、懐中電灯の常備などの揺れから「身を守る」こと
- 自宅を守るため、感震ブレーカーを設置したり、消火器を用意しておくなど「火災を起こさない」こと
- 最低3日分の備蓄をしておくこと
- 自宅で避難生活を送ることができる状態であれば「在宅避難」をすること



→リーフレットを作成しました!

町の防災組織(各町内会自治会)と連携し、自助・共助の取組を地域全体へ広げていくことが大切です。

横浜市港北区役所総務課より

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/kurashi/bosai\\_bohan/saigai/zaitakuhinan.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/kurashi/bosai_bohan/saigai/zaitakuhinan.html)

**【高田祭を振り返って】** 10月の高田祭の二人の委員長の振り返りの言葉です。

## 合唱コンクール実行委員長 3年2組 栗原 明花里

### <3年ぶりの合唱コンクールを終えて>

「なんとしてでもやる！」これが今年度の合唱コンクール実行委員会の活動目標でした。昨年度の3年生が私たちに託した合唱コンクール開催の思いを引き継ぎ、3年ぶりとなる高田中学校合唱コンクールを成功させることができ、大きな達成感を感じています。3年ぶりということで、私たち3年生にとっても合唱コンクールがどのようなものかわからないまま、先生方と4月から準備を進めてきました。世の中の状況がいつ、どのように変わるかわからず、昨年のように途中で中止になってしまうのではないかと不安がずっとつきまとっていました。

練習時間の短縮や、合唱時のマスク着用、体育館では一学年のみの鑑賞など、コロナ禍前とは違った部分もありました。しかし、合唱コンクール当日はみんなが笑顔で、お互いの合唱に聴き入り、終わった後は「楽しかった」、「もう一回歌いたい」という声がたくさん聞こえてきました。スローガンの通り、一人ひとりの個性が輝く歌声で、一輪の花を鮮やかに彩ることができました。また、ここから新たな高田中学校の合唱コンクールの第一歩を踏み出すことができたのではないのでしょうか。

一人ひとりが団結して声を出し合っ、一つの音楽を創り上げるのはとても貴重な体験です。もしかしたら、高田中学校での合唱コンクールが合唱をする最後の機会になってしまう人もいるかもしれません。新型コロナウイルス感染症による制限の中で、こうしてクラスの仲間と合唱ができたことが、高中生一人ひとりの思い出に残るものになっていれば嬉しいです。

企画運営に全力で取り組んでくれた実行委員の皆さん、たくさん制限がある中でもきちんとルールを守り、練習から発表まで臨んでくれた全校生徒の皆さん、そして私たちの活動を支えてくださった先生方、本当にありがとうございました。

## 高田祭実行委員長 3年3組 酒井 結衣菜

### <高田祭を振り返って>

全校生徒の皆さん、高田祭は楽しんでいただけたでしょうか。今年の高田祭スローガン「彩ろう～高中生が創る一輪の花～」の通り、全校生徒が一丸となり、一輪の花を個性豊かな色で彩ることができました。

新型コロナウイルスの影響で、今年度も全校生徒が体育館に集まって一緒に鑑賞することができず、残念な部分もありましたが、それでも全校生徒が楽しめる企画を目指して、私たち実行委員は何度も話し合いを重ねて準備をしてきました。そして当日、皆さんが盛り上がり、楽しんでいる様子を見て、実行委員として「頑張って良かった」と心から感じました。

今年は合唱の部と合わせて3年ぶりの2日間開催となりました。特に3年生は2年連続で悔しい思いをしてきた分、合唱にかける思いが強く、休み時間や音楽の授業の後でもあちこちで歌声が聞こえてきました。また、昨年度を超える数の参加団体のおかげで、文化の部の発表も充実したものになりました。

私は昨年度、高田祭の運営に携わった経験から、今年度は合唱の部を加えた形でさらに盛り上がるものにしたいと思い、実行委員長に立候補しました。実行委員長としてみんなを引っ張っていこうと意気込んでいましたが、実際には周りの仲間や先生方からたくさんサポートしていただき、ここまで頑張ることができました。どんな場面でも高田祭実行委員会の活動スローガンである「栄華発外」を目指して、チーム一丸となって取り組んだことが高田祭の成功につながった理由の一つだと思います。

そしてこの二日間をこんなにもカラフルに彩ることができたのは、一緒に頑張ってきた実行委員の皆さんだけでなく、展示やステージでの発表をしてくれた各団体の皆さん、楽しんでくれた全校生徒の皆さん、そしてサポートくださった先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

私たち3年生にとって最後の高田祭が終わりました。来年度は2年生が中心となり、私たちが先輩方から受け継いだ伝統を引き継ぎ、さらに素晴らしいものを創ってくれることを期待しています。



## 【社会に開かれた学びを～ズーラシア清掃体験】

個別支援学級は、11月7日（月）と14日（月）の二日間、清掃についての出前授業を受けました。清掃業を営む会社で構成される横浜管理協同組合の方に来校していただき、清掃の基本を教えてもらいました。管理組合の方は、障がい者雇用支援のプロジェクトとして、10年以上にわたって横浜市の個別支援学級の生徒たちに出前授業を行っています。教え方もとても上手で、動画を使ったり、手本を見せてくれたりしながらとても分かりやすく生徒たちに教えてくれました。出前授業では、働くことを意識した清掃として、清掃に入る前の身だしなみチェックから、自在ぼうきの使い方、雑巾の絞り方、机の拭き方、清掃中のマナーまで幅広く教えてくれました。第一回目は基本を学び、それをもとに一週間後に、現場実習としてズーラシアにて清掃校外実習を行いました。ズーラシアでは、来場者が使用するテーブルや遊具を拭いたり、落ち葉を掃いたりしました。5、6組の生徒たちは、真剣に話を聞き、丁寧に清掃に取り組んでいました。普段何気なく行っていた清掃活動の一つ一つに意味があり、正しい手順を覚えることで効率的に清掃ができることを知ることができました。生徒たちは、清掃の仕方を学んだその日から早速日常生活でも実践しています。今回、学んだことは将来清掃業のみならず、ほかの職種に就くときにも役に立つ内容が多く、将来就労を目指す生徒たちにとって大変貴重な経験となりました。

（個別支援学級担任）



## 【地域防災訓練授業】

11月18日（金）。地域の皆様が今年も1年生に防災訓練授業を実施くださいました。防災訓練授業では、災害の映像を視聴したり、防災に関する講話を伺ったり、スーパーのレジ袋を利用した応急処置訓練や消火器体験など多くを学びました。

高田消防出張所 天野所長からは「(戦力として) 頼りにしています」のお言葉がありましたが、まさに、防災意識を高め、生徒自身が地域の一員であることを自覚し共助の力を付けていくための貴重な機会となりました。ありがとうございました。



### ＊生徒コメント抜粋

□中学校が避難場所になったら荷物を運んだり自分のできることを考えて地域のためになることをしたい。

□高田中に避難してくる人がいたら案内など自分のできることを責任をもってやりたいと思った。



□食べ物を運んだり、中学生の体力だから出来る事など、困っている人を見つけたり小さい事でも取り組みたいと思いました。

□あまり大きく声を出せなかったから、もし本当に火事が起きた時には大きな声を出せるようにしたいです。

□レジ袋でけがをしてしまったときの(対処)方法を学んだり、実際に消火器を使ったりしたのでいざとなったとき動けるようにしたいです。

## 【第3回学校運営協議会】

11月16日（水）に、高田小学校で令和4年度第3回学校運営協議会が開催されました。高田小学校の授業参観のあと、各校の取組と併設型小中学校としての取組を理解し情報交換をしました。高田小では、今年度の高田中ブロックテーマ「豊かな表現力の育成を目指して～情報化社会を生きぬく能力を高めるための指導の実践～」を意識した授業が年齢に応じて実践されている様子を見ることができました。有識者の生重様からは高田の地域のすばらしさを生かした開かれた学びや小中連携への期待のエールを頂戴しました。

## 【R4年度企業委託形式放課後学習会】

これまでの定期テスト前の図書館での学びの場に加え、隔週火曜日高田地域ケアプラザでの放課後学習会も始まり、既に2回実施がなされました。参加者は大学生のボランティア先生に個別に教わりながら19：00まで、それぞれが持参した教材を使って一生懸命勉強しています。定期テスト前の放課後学習会でも、友達どうしの学び合いに加え、当事業によりスタンバイくださることになったボランティア先生たちに主体的に質問をする姿も見られました。自分にあった学び方は人それぞれです。学びの場のひとつの選択肢として、生活スタイルに合わせてうまく活用してもらえればと思います。



今後の実施予定（注：当取組は市教委との本年度の事業です。）

【毎月第2、第4火曜日】12月13日、1月10日・24日、2月14日・28日  
16時～19時 於 高田地域ケアプラザ

【テスト前2日間】2月14（火）・15日（水）放課後～最終下校時刻まで 於 高田中学校図書館

【参加申込み方法】

以下の申し込み（Google）フォームリンクか右のQRコードからお申し込みください。申し込み後の日程変更の際は、フォームに再度アクセスして回答を編集するか、メールでお知らせください。

【申し込みフォームリンク】<https://forms.gle/6th2yZX3bDiTS2B87>

【メール】[minami-kanto@super-ykst.jp](mailto:minami-kanto@super-ykst.jp)



## 【その他】

お陰様で冬を控えたこの時期も花に囲まれた高田中学校です。環境委員の生徒による花文字ならぬ花絵（☆と月？）には楽しさを感じます。生徒たちはチューリップの球根を100個、プランターに植えてもくれました。春が楽しみです。玄関の花はおやおやの会の皆様によるもの。校門横や高田園の花は花ボラさんの花の植え替えのお陰で色鮮やかです。登校時に見て元気になればと校門横の花はビタミンカラー中心にしてくださいそうです。ありがとうございます。

